

TOKYO FM 少年合唱団

TOKYO FM 少年合唱団は1985年4月にFM東京の開局15周年を記念して誕生しました。ボーイソプラノならではの純粋な響きを追求し、小学生の男の子だけをメンバーとする、世界でも稀少な少年合唱団で、その実力・実績は日本のみならず海外でも高く評価されています。

小学1年生から6年生まで本科生・予科生合わせて約25名の団員が在籍し、毎週2回、歌唱・発声・ソルフェージュなどの指導を受けています。「クリスマスコンサート」「定期演奏会」等の主催公演ほか、国内外のオペラハウスやオーケストラからの出演依頼も多く、著名な指揮者や歌手と共演する貴重な機会を得ています。また、様々なアーティストから依頼を受けて数々のCD録音に参加しているほか、CMにも出演するなど、その活動は多岐にわたります。



谷川賢作 Kensaku Tanikawa

1960年東京生まれ。日本を代表するジャズピアニスト、作曲家。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」「孤独の発明」ハモニカ奏者続木力とのユニット「パリヤーン」、また父である詩人の谷川俊太郎と朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。近年、鈴木絵麻(歌)との共演を重ねている。作曲家として、映画『四十七人の刺客』『竜馬の妻とその夫と愛人』NHK『その時歴史が動いた』テーマ曲等。父・俊太郎の詩による歌曲やミュージカル作品も多数手掛ける。88、95、97年に日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。谷川賢作オフィシャルサイト <http://tanikawakensaku.com/>

小美濃悠太 コントラバス Yuta Omino



1985年、東京生まれ。一橋大学社会学研究科修了。

日本を代表する数々のジャズミュージシャンとの共演を重ね、ツアー、レコーディングへの参加は枚挙に遑がない。

ジャズ以外のフィールドでも、世界的なボサノバシンガー・

小野リサの中国ツアーや、日本を代表する雅楽師・東儀秀樹と、

世界的なバイオリンスト古澤巖による全国ツアーなどに参加。

自身のプロジェクトではヨーロッパのアーティストとの交流を深め、

2017年にはポーランド人ドラマー Albert Karch との共同プロジェクトで日本ツアーを行い、

2018・2019年にはコペンハーゲンジャズフェスティバルにも出演、絶賛を受けた。

ジャズベースを山下弘治氏、アルコ奏法を高西康夫氏、斎藤輝彦氏に師事。



坂本貴啓 パーカッション Takahiro Sakamoto

小学生の頃よりエレクトーン、ジャズドラムをはじめ、高校時代はハードロックやラテンに傾倒する。

辛島文雄氏に師事し、ドラム、パーカッション、ピアノ、アコーディオンを用いて枠組みにとらわれない活動をしている。

2014年浅草ジャズコンテストにて金賞受賞。

2015年山野ビッグバンコンテストにて最優秀賞受賞。

ライヴ、レコーディング、映画ドラマの音楽指導と吹き替え、ミュージカル、朗読劇、アレンジ、作曲など幅広く音楽活動をしている。



林ゆか 指揮・合唱指導 Yuka Hayashi

南蔵院 住職の長女。東京音楽大学声楽科卒業、同大学院オペラ研究修了。

イタリミアラノに留学。イタリア伝統のベルカント唱法を受け継ぐ

オペラ歌手ルチアーナ・セツラ氏の元で研鑽を積む。

帰国後、日本演奏連盟主催新人演奏会にて九州交響楽団と共演。

現在、国内外から高い評価を受けるTOKYO FM少年合唱団指導者。

国外歌劇場の来日公演や新国立劇場の公演において児童合唱を指導し好評を博す。

東京文化会館主催事業、オペラBOXにおいても児童合唱指導を行う。

福岡、東京を中心に活動中。